

音響ルネサンス

蓄音機10台の饗宴

～蓄音機発明140周年を迎えて～

日時 2018年11月23日(金)～25日(日)

会場 浮世絵&蓄音機 香津原

蓄音機はレトロ&モダン

蓄音機は確かに過去のもので。しかし、その懐かしくも生々しい音色は驚くほど迫真味を伝えてくれます。その意味において、蓄音機はレトロであるとともに、私たちが聞いたことがないサウンドを提供するきわめてモダンな媒体であるといえます。

サウンドの原点である蓄音機10台が集まります

蓄音機といっても大きなラッパで豊かに鳴り響くものもあれば、小型でも生き生きとしたサウンドのものもあります。それらの蓄音機10台がここに集まります。

●集合する蓄音機→蓄音機の最高峰といわれるE. M. G. Mark IX(マーク・ナイン)を筆頭に、HMV-163、Victrola(ヴィクトローラ)のフロア型・卓上型・ラッパ型、Columbia(コロムビア)のポータブル型、そしてエヂソン(Edison)のB型など。

聴き比べができる珍しい機会

世界の一級品からポータブル型まで使用します。名古屋ではレアな試みです。

3日間のプログラム

- ①会期中3日間にわたり、歌謡曲からジャズまで日替わりでお聴きいただきます。
- ②12時～午後4時30分は入場無料で出入り自由です。お好みのレコードで聴き比べができます。
- ③5時から6時30分までは、「特別コンサート」として専門のコメントーターの解説による蓄音機コンサートです。(使用蓄音機 E.M.G. Mark IX) 各音楽分野に詳しい専門家が解説しますから、より一層楽しんでいただけるものと期待しています。(有料1,500円) 定員40名

3日間のスケジュール

	特集(無料:出入り自由) 12:00～16:30	特別コンサート(有料1,500円) 定員40名 17:00～18:30
23日(金)	歌謡曲の日 日本人の粋を伝える日本調歌謡、米国の影響を受けた洋物歌謡、叙情派歌謡など、様々な歌謡曲の良さを。	戦前から戦後まで、広く大衆に親しまれてきた歌謡曲。歌手や歌詞、作曲家も含めその真の価値を語ります。 解説:夏目英司氏 協力:岩田国保氏
24日(土)	タンゴの日 タンゴのエッセンスを伝える古典タンゴ(1930年代前半まで)と懐かしいコンチネンタルタンゴも。	古典タンゴを中心に、今でも多くの人が魅了されるその魔力の原点に迫ります。 解説:島崎長次郎氏(日本タンゴアカデミー名誉会長)
25日(日)	ジャズの日 ジャズの名演奏、スタンダードナンバー、ポピュラーソング、ポップス、映画音楽(洋画)など幅広く。	ジャズの名演を中心に、戦後の洋楽も含め、スタンダードからポピュラーまで網羅する贅沢かつ至福のひとつ。 解説:井上雅紀氏 協力:猪飼俊彦氏

特別コンサートには予約が必要です。予約優先のため当日満席の場合は入場をお断りする場合があります。

主催/なごや蓄音機クラブ 連絡先/Tel. 090-3855-1200(勝原)